



「自然と人が共生し、快適で こころふれあうまち」を目指して

私たちのまち本巣市は、岐阜県内では18番目の市として平成16年2月1日に誕生し、合併時に策定した「新市建設計画」に基づき市民の一体感の醸成に努め、目標である将来像「自然と人が共生し、快適でこころふれあうまち」を目指したまちづくりをすすめてきました。

近年の社会経済環境は、少子高齢化の一層の進展、情報技術の高度化、産業構造の変化、三位一体改革による地方分権の推進など、大きな変革期を迎えており、時代背景を的確に捉えつつ、新たな課題に取り組むことが求められています。

こうした変革の時代にあって、新たな課題に対応し、戦略性を持った21世紀における新しい市政運営の基本方針となる「本巣市第1次総合計画」を策定しました。

この計画の将来像を実現するため、「自然と共生するまち」「快適に過ごせるまち」「こころふれあうまち」の3つの基本理念をもとに、市民の皆様の視点に立った、市民が主役のまちづくりに向け積極的に施策を推進して参りたいと考えておりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、市民意識調査に貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、熱心なご審議をいただきました計画審議会委員の皆様並びに関係各位に対しまして心からお礼を申し上げます。

平成18年3月

本巣市長 内藤 正行